

消化器外科 初期研修プログラム

【研修責任者】 寺谷 直樹

【一般目標】

臨床医として消化器症状を有する患者を診療するための身体所見、検査の選択、検査結果の評価、疾患の鑑別、緊急を要する疾患では初期対応、創傷処置が行えるようになる。

【行動目標】

- 1、 患者および家族から適切な病歴聴取を行うことができる。
- 2、 診断に必要な検査を適切に選択することができる。
- 3、 緊急を要する疾患では専門医へのコンサルトができる。
- 4、 内視鏡、レントゲン、超音波、CT, MRI などの検査を正しく解釈できる。
- 5、 病歴、診察所見、検査所見により鑑別診断をあげることができる
- 6、 手術における基礎的手技（縫合、結紮、ガウンテクニック）などができる。
- 7、 症例のプレゼンテーションを適切に行い、カンファレンスで質疑応答ができる。
- 8、 悪性疾患など重篤な疾患では、患者および家族の精神的なケアができる
- 9、 悪性疾患における疼痛コントロールのため適切な薬剤を選択できる。
- 10、 症例報告などの学会発表を行う。

【研修内容】

- 1、 新患の病歴、身体所見をカルテに記録する。
- 2、 新患の検査および治療計画をたて、指導医の指示を受ける。
- 3、 消化器領域の各種検査を見学し、侵襲度を理解し、読影について学ぶ。
- 4、 入院患者を指導医とともに受け持ち、カンファレンスで説明できるようにする。
- 5、 指導医の指導のもと手術の基本手技をマスターする。
- 6、 各種の消化器癌、乳癌についての基礎を学ぶ。
- 7、 各種の消化器癌、乳癌についての手術・化学療法・放射線療法について学ぶ。
- 8、 癌末期の患者を指導医とともに受け持ち、終末期医療について学ぶ。

【週間スケジュール】

月曜日；回診、手術

火曜日；回診、手術

水曜日；回診、カンファレンス、検査見学、救急患者診察

木曜日；回診、手術

金曜日；論文抄読会、回診、検査見学、救急患者診察

（土日祝日；担当患者の回診）